

# 財政健全化計画等執行状況報告書

## 1. 基本的事項

団体名	栃木県那須町	会計名	水道事業会計	担当課	上下水道課
承認年度	平成22年度				

## 2. 判定結果

(単位:百万円、%)

項目	計画最終年度(又は改善額合計)			当初計画最終年度目標値(又は補償金免除額)		類型
	目標値	実績見込値	乖離値	目標値	乖離値	
① 地方債現在高						
② 実質公債費比率						
③ 改善額	6	6	0	4	2	a
④ 公営企業債現在高	2,950	3,240	▲ 290	3,164	▲ 76	c
⑤ 累積欠損金比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	a
						総合判定
						c

## 3. その他

### (i) 計画及び前年度執行状況の公表状況

計画:平成23年 3月 公表 (  HP・ 広報紙・その他【 】 ) )  
 執行状況:平成26年 12月 公表 (  HP・ 広報紙・その他【 】 ) )

### (ii) 計画及び前年度執行状況の議会への説明

計画:平成 年 月 説明  
 執行状況:平成 年 月 説明



(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

(v)改善方針の進捗状況



**(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項**

○主要水源である小島浄水場において、感染症を引き起こす指標菌が検出されたため、その対策として緩速ろ過池を早急に新設しなければならなかった。その財源に企業債を発行したため計画目標値に届かなくなった。(平成23年1月24日の水質検査報告書において指標菌の検出を確認)

\*小島浄水場ろ過池新設工事(平成23・24年度)  
総事業費 385,350,000円(平成23年度起債額 40,000,000円 平成24年度起債額 280,000,000円)

・平成23年度起債予定額は7千万円であったが、急遽浄水場ろ過池整備事業が決まったため簡易水道再編事業を縮小して4千万円の起債とし、浄水場ろ過池整備事業起債額4千万円と合わせて8千万円の起債となった。そのため影響額は1千万円となった。

・浄水場ろ過池整備事業により平成23年度に1千万円、平成24年度には2億8千万円の追加起債となったため、影響額は合わせて2億9千万円となった。

**(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し**

浄水場ろ過池新設工事によって2億9千万円の企業債を追加発行したが、事業が完了したため、今後企業債現在高が増加することはないと思われる。

**(v)改善方針の進捗状況**

団体名	栃木県那須町
会計名	水道事業会計

類型	a
----	---

⑤ 累積欠損金比率

(i) 推移表

担当課 上下水道課

(単位: %)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画最終年度 (平成26年度)	当初計画 最終年度目標値
計画目標値(A)	-	-	-	-	-	-
実績(見込)値(B)	-	-	-	-	-	-
乖離値(C) (A-B)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
乖離率(D) (C/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

(ii) 要因分析

(単位: 百万円、%)

	計画最終年度(平成26年度)		再算定値
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	
分母(営業収益等)	-	-	-
分子(累積欠損金)	-	-	-
累積欠損金比率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

分母悪化要因

(単位: 百万円)

要因	影響額	備考	やむを得ない事情
合計	-		

分子悪化要因

(単位: 百万円)

年度	純損益		乖離値(A-B)	乖離要因	やむを得ない事情
	計画目標値(A)	実績見込値(B)			
平成22年度					
平成23年度					
平成24年度					
平成25年度					
平成26年度					
合計			-		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

--

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

--

(v)改善方針の進捗状況

--